

今後の小中学校のあり方（施設一体型小中一貫校）に関する広聴会

施設一体型小中一貫校の開設は小中学校を統廃合する大きな事業です。教育委員会では、昨年度から新型コロナウイルス感染症の感染状況を考慮しながら、施設一体型小中一貫校について、皆さんのご意見をうかがう広聴会を開催してきました。

1 広聴会の実施状況

開催回数:8回

延べ参加者数:136人

《内訳》

対象	開催日	会場	回数	参加者数
児童生徒保護者	R2.10.18(日) 午前/午後 R2.10.25(日) 午前/午後	各小学校	4回	56人
未就学児保護者	R2.11.8(日) 午前/午後	東公民館	2回	43人
一般	R3.6.13(日) 午前/午後	中央公民館	2回	37人
合計 8回開催			136人参加	

2 主な質問や意見

質問

Q. プロジェクト基本方針にある「子どもたちの生きる力の育成」とは、どのようなことなのですか。

A. 「生きる力」とは、学習指導要領にて示されている「知・徳・体」といった総合的な力のことで、そのような力を育てていくことです。

Q. 小中学校を集約すると、小中学生と一緒に生活することになります。そのことへの子どもたちへのサポートはどのように考えていますか。

A. 小中学校を集約する準備期間中に小学生が中学校で授業を受けるなど、子どもたちが徐々に環境に慣れていくよう交流の機会を設けていきます。

Q. 入学式や卒業式、運動会などの学校行事は、小中学生と一緒に行うことになるのですか。

A. 行事の内容や効果によって小中学生が合同に行うのか、それとも別々に行うのかを決定していきます。

Q. 小中一貫教育では、中学校の部活動と小学校のクラブ活動を一体におこなうのですか。

A. 基本的には学習指導要領に基づき、活動は別々になりますが、効果的だと判断できれば、小学校高学年の児童が部活動に参加することも検討します。

Q. コマの授業時間が小学校では45分、中学校では50分と異なりますが、どのように授業時間を組むのですか。

A. 他校では、例えばチャイムを鳴らさない「ノーチャイム」を取り入れている学校がありますので、そのような先進事例を参考にしていきます。

Q. 小中学生が同じ施設で生活することによって、中学生の学習の妨げになることはありませんか。

A. 中学生のテスト中に関わらず、静かな環境が必要な時もあります。ルール決めの必要があると考えています。

Q. 小中学校を集約すると中学校の教員数は増えるのですか。

A. 教員数は、国の基準によって学級数に応じて決まりますので、教員数は変わりませんが、小中学校を集約することで、教員が互いに補い合うことが可能となります。

Q. 学級数に応じて教員数が決まるのであれば、小中学校を集約すると教員の数は減るのではないのでしょうか。

A. 町全体では教員数が減少しますが、小中学校を集約することにより、一校に小中学校の教員がいることになり教員数は増加することになります。

Q. 小学校の教員は中学校の授業を担当できないのではないですか。

A. 小学校免許だけでは中学校の授業を直接行うことはできませんが、サポート役として授業に参加することができます。

Q. 小中学校を集約することで小学生の通学距離が遠くなる場合がありますが、安全な登下校の対策はどうなりますか。

A. 子どもたちの安全を第一に考え、スクールバスの導入も含めて検討します。

Q. 小学生と中学生では体格が異なりますが、同じ校舎で生活する際の安全確保は

どのように考えていますか。

- A. 基本的に生活の場は小学生と中学生で分ける予定で考えています。
- Q. 小学校が中学校に集約された後、小学校の校舎や体育館など学校跡地はどうなるのですか。
- A. 小学校の体育館は避難所に指定されていますので、敷地利用を含めて今後検討していきます。
- Q. 小中学校を集約する時には、今の中学校校舎の教室数で足りるのですか。
- A. 普通教室や特別教室など、増築校舎が必要になると考えています。
- Q. 小学生はその体格差により、中学校校舎を利用しづらいのではないですか。
- A. 小学生でも利用できるよう、体格差に応じた改修を実施する予定です。
- Q. 現在の毛呂山小学校や川角小学校に整備した学童保育所はどうなるのですか。
- A. 今後も使用していく予定ですが将来的に検討していきます。

意見

- 小中学校を集約することの住民周知が不足していると思う。
- 施設一体型小中一貫校は、町公共施設削減のための手段となってしまっている。
- 小学校2校ずつの集約でも良いのではないか。
- 学校は地域のシンボルであり小学校を無くすことは反対。
- 小中一貫教育と小中学校の集約をいっしょに考えるからわかりづらい。
- 学校が遠くなると地域の魅力が無くなってしまう。
- 小中学生が同じ敷地内で生活することは危険を伴う。
- 客観的根拠にもとづく資料をいただきたい。
- 小中学生と一緒に生活すると、小学校高学年のリーダーシップが薄れてしまう。
- 将来にかかわる問題であり、住民の意見をしっかり聞いてほしい。

3 今後の予定

今後も、小中学校を集約する施設一体型小中一貫校について町の考えやこれからのことをお知らせするとともに、みなさんの意見をうかがう広聴会を開催する予定です。広報や町ホームページで開催をお知らせしますので、皆様のご参加をお願いいたします。